

市町村アクションプログラム 実績値及び目標値

市町村	項目	実績値「一般廃棄物処理事業実態調査」より					目標値	ごみ排出抑制等の対策	各対策の進捗状況(令和4年2月現在)
		H28	H29	H30	R1	R2			
山形市	家庭系ごみ排出量 (1人1日あたり: g)	524	523	533	548	560	519	① 短期(1、2年で緊急に実施すべきもの) ・家庭系ごみのうち、「食品ロス」の排出量を削減するため、市民団体等と連携し、エコクッキング講座やアドバイザー派遣などの事業を通じ、啓発活動を行う。 ・事業系ごみのうち、飲食店等から発生する「食品ロス」を削減するため、宴会時、乾杯後の30分、お開き前の10分は自分の席で料理を楽しみ、食べ残しを減らすための「30・10運動」を、市民団体等と連携して啓発を図る。 ② 中期(3～4年で実施すべきもの) ・事業系ごみについて、再資源化可能なものが未だに可燃ごみとして廃棄されているため、説明会や研修会の開催、事業所訪問等による普及啓発を行い、資源物混入の減量に取り組む。	①-実績 ・出前講座やアドバイザー派遣を実施した小学校の学年行事や町内会行事等において、食品ロスの削減と「30・10運動(家庭編、新しい生活様式編)」について、啓発活動を行った。 ・スーパー店頭で実施したリサイクルキャンペーンにおいて、市民団体と連携し、家庭における食品ロス削減啓発用ポケットティッシュを活用して食品ロス削減の啓発活動を行った。
	事業系ごみ排出量 (t)	25,826	26,291	24,622	23,604	21,091	20,834		①-予定 ・出前講座やアドバイザー派遣事業、スーパー店頭で実施するリサイクルキャンペーンにおいて、市民団体と連携した啓発活動を継続するほか、食品ロス削減啓発用紙芝居を活用し、未就学児にも啓発の対象を広げるとともに、新型コロナウイルス感染症対策と合わせた「30・10運動(新しい生活様式編)」を活用した食品ロス削減の啓発活動を推進する予定。 ・やまがた環境展や山形市民活動まつり、リサイクル体験教室等、今後開催されるイベントで市民団体と連携して啓発を行う予定。(今後、新型コロナウイルス感染症の状況により中止、変更の場合あり)
	資源化率(%)	18.1	17.9	18.2	19.3	18.7	25.9		②-進捗 平成30年度より、一定規模以上の事業所を訪問し、分別の徹底や古紙の再資源化の啓発を行っている。今後、大規模建築物から提出された「事業系廃棄物減量等計画書」や搬入物検査結果の分析・活用により、事業系ごみの一層の削減を目指す。
上山市	家庭系ごみ排出量 (1人1日あたり: g)	497	500	495	523	536	489	① 短期(1、2年で緊急に実施すべきもの) ・家庭での生ごみ排出抑制とリサイクル推進のため、衛生組合連合会と連携し、水切り徹底の呼びかけやコンポスト処理容器等の購入支援、EMポカシ講習会を開催し、生ごみの減量化・堆肥化による土壌還元を促める。 ・10区分19品目の分別回収を継続し、再資源化を図る。(雑紙袋を作成し、全戸配布) ・町内会や子供会等での集団資源回収への支援や古紙類の拠点回収所を設け、再資源化を図る。 ② 中期(3～4年で実施すべきもの) ・エネルギー回収施設稼働に伴い、分別区分・品目などの変更も予想されるが、ごみ分別収集を徹底し、ごみの減量化・再資源化(ビン・カン、ペットボトル、古紙類、廃食油等)推進する。 ・事業系ごみの適正な処理についての広報啓発を実施する。	①-実績 衛生組合連合会と連携してコンポスト処理容器等の購入支援を行い、生ごみ減量と堆肥化による土壌還元を図っている。また、雑紙袋の全戸配布と集団資源回収への支援を実施、古紙の拠点回収所では、毎日古紙の回収を行い資源化率の上昇を目指している。
	事業系ごみ排出量 (t)	2,899	2,941	3,005	3,028	3,164	2,953		①-予定 今後市報やホームページ以外にも、環境展や出前講座などで、市民にごみ減量やリサイクルについての広報啓発活動を行う。また、市民や事業者に対する食品ロス削減や資源化率向上に係る広報紙の配布などにも取り組んでいく。
	資源化率(%)	23.2	22.1	21.7	23	20.5	26.1		②-進捗 家庭ごみの減量化や資源化の推進と、事業系ごみの排出抑制、減量化、生ごみや再生可能な古紙類のリサイクルに対する積極的な取組みを市HP等で促していく。
山辺町	家庭系ごみ排出量 (1人1日あたり: g)	547	560	559	576	582	559	① 短期(1、2年で緊急に実施すべきもの) ・家庭系もやせるごみを減らすため、分別徹底(古紙、古布類は資源回収に出してもらう)の広報活動を行い、リサイクル事業を推進する。 ② 中期(3～4年で実施すべきもの) ・事業系もやせるごみを減らすため、分別、適正処理等の広報活動を行う。	①-実績 町の広報紙にて、月に1度、前年度と比較したごみ量についての記事を掲載した。 使用済み小型家電や古紙古布類の無料回収を実施した。 家庭用生ごみ処理機の購入補助を実施した。 集団資源回収を実施した団体へ奨励金を交付した。
	事業系ごみ排出量 (t)	246	273	278	354	340	296		①-予定 広報や啓発活動、使用済み小型家電・古紙古布類の回収、生ごみ処理機購入補助、集団資源回収奨励金交付の継続を検討中。
	資源化率(%)	17.1	16.5	15.9	15.3	12.6	22.4		②-進捗 事業所等への広報、啓発活動は引き続き検討中
中山町	家庭系ごみ排出量 (1人1日あたり: g)	550	567	567	595	608	515	① 短期(1、2年で緊急に実施すべきもの) ・燃やせるごみ コンポスター設置補助を行って生ごみを減らしていく。 ・燃やせるごみ 燃やせるごみの中にリサイクルできる紙等が入っているので雑紙袋を有効活用して減らしていく。 ② 中期(3～4年で実施すべきもの) ・ごみ全般 ごみ減量化に向けた施策により減量を目指す。	①-実績 短期:実施済み・実施中の取組み ・毎年コンポスター設置補助(6月～7月頃)を実施。 ・毎年10月頃に雑紙袋を配布。
	事業系ごみ排出量 (t)	234	263	274	284	250	226		①-予定 短期:実施済み・実施中の取組み ・衛生組合連合会と連携し、回覧板でコンポスター設置補助を周知。 ・衛生組合連合会と連携し、回覧板で雑紙袋の配布を周知。
	資源化率(%)	18.7	19.8	19.1	20.1	17.9	24		②-進捗 中期:ごみ減量に向け、より具体的な施策を検討していくとともに、ごみ分別の徹底を図るため、広報誌、HP、窓口、電話対応での周知や説明を継続していく
寒河江市	家庭系ごみ排出量 (1人1日あたり: g)	524	541	552	562	580	514	① 短期(1、2年で緊急に実施すべきもの) ・今後も不用品の有効利用をすすめるため、不用品登録事業のPRを継続する。 ・もやせるごみの量を減らすために、市報等によるごみ発生抑制に向けたPRを行う。 ・集団資源回収に取り組むPTAや子供会を支援し、補助金を交付すること(継続) ② 中期(3～4年で実施すべきもの) ・事業系ごみの減少に向けた啓発活動を実施したい。	①-実績 ・市ホームページ・市報にて広報を行い、不用品登録事業を継続して行っている。 ・「寒河江市衛連だより」にてごみ発生抑制に関する広報を行っている。 ・電動式生ごみ処理機の設置に対し補助金を交付し、家庭から排出される生ごみの排出抑制及び有効利用の推進を行っている。
	事業系ごみ排出量 (t)	4,061	4,026	3,913	3,816	3,612	3,785		①-予定 集団資源回収に取り組むPTAや子供会に補助金を交付し、支援している。
	資源化率(%)	11.6	11.6	9.9	6.2	6.4	11.7		②-進捗 今後、実施予定。
西川町	家庭系ごみ排出量 (1人1日あたり: g)	497	521	534	531	554	443	① 短期(1、2年で緊急に実施すべきもの) ・家庭系ごみ(生ごみ)の減量化(水切りによる質量の低減化) ・食品トレーの資源化回収(現在は燃やせるごみに混入) ② 中期(3～4年で実施すべきもの) ・ごみリサイクル運動の推進(集団資源回収率の向上) ・食品ロスの削減(家庭系ごみの減量につながる) ・ごみ環境の学習会など	①-実績 ・家庭系ごみの減量化、分別徹底によるリサイクル推進について、ごみ収集日程表へ掲載し、町民・地域へ広報・啓発に取り組んでいる。 ・使用済み小型家電回収事業を実施。
	事業系ごみ排出量 (t)	382	398	384	399	350	373		①-予定 ・食品ロスの削減、生ごみの水切り徹底、3R推進等について、広報誌において周知・啓発を行う。(年度内)
	資源化率(%)	16.6	16.0	15.7	14.1	7.8	17.6		②-進捗 ・食品ロス削減運動については、検討中。
朝日町	家庭系ごみ排出量 (1人1日あたり: g)	434	457	482	467	484	407	① 短期(1、2年で緊急に実施すべきもの) ・生ごみを減らすために引き続きコンポスター購入者への補助を実施する。 ・白色トレイ等、リサイクル回収への協力を啓発、周知する。 ・ビン類は、資源回収または販売店へ出してもらうよう周知する。 ・使用済み小型家電無料回収の継続実施 ・小学校における学用品等の交換会の開催 ・もったいない運動(リユース)事業の新設 ・ごみ減量に向けた講演会の開催 ・食品ロス削減運動、「30・10運動」への取り組み ② 中期(3～4年で実施すべきもの) ・量販店や、コンビニレジ袋の無料配布の見直しをお願いする。 ・商品を販売する際は、過剰包装とならないよう、各商店へ依頼する。	①-実績 実施済み ・使用済み小型家電無料回収の継続実施 ・ビン類は、資源回収または販売店へ出してもらうよう周知する。 ・白色トレイ等、リサイクル回収への協力を啓発、周知する。 実施中の取組み ・生ごみを減らすために引き続きコンポスター購入者への補助を実施する。 ・食品ロス削減運動、「30・10運動」への取り組み→H30.10 ・マイバックの推進(のぼり設置。チラシを全戸配布)。
	事業系ごみ排出量 (t)	537	481	506	614	483	540		①-予定 今後の実施予定 ・小学校における学用品等の交換会の開催→未定 ・もったいない運動(リユース)事業の新設→未定 ・ごみ減量に向けた講演会の開催→未定
	資源化率(%)	15.9	16.6	8.3	7.6	7.9	16.9		②-進捗

市町村アクションプログラム 実績値及び目標値

市町村	項目	実績値「一般廃棄物処理事業実態調査」より					目標値	ごみ排出抑制等の対策	各対策の進捗状況(令和4年2月現在)	
		H28	H29	H30	R1	R2			R2	
大江町	家庭系ごみ排出量 (1人1日あたり: g)	461	469	486	497	577	419	① 短期(1、2年で緊急に実施すべきもの) ・生ごみの水切りの徹底(チラシ等での周知、啓発) ・資源回収の継続実施(リサイクルの意識向上) ・小型家電リサイクル(無料回収)の実施 ② 中期(3~4年で実施すべきもの) ・食品ロス削減(チラシ等での周知) ・生ごみたい肥化への取り組み(コンポスト設置補助)	①-実績	小型家電リサイクル(無料回収)の実施 資源回収の継続実施(リサイクルの意識向上) 生ごみの水切りの徹底(チラシ等での周知、啓発)
	事業系ごみ排出量 (t)	523	519	519	508	449	467		①-予定	
	資源化率(%)	12.9	11.9	7.2	7.1	7.1	15		②-進捗	食品ロス削減(チラシ等での周知)については、今後、生ごみの水切りの徹底チラシと併せて周知予定。 コンポスト設置補助については、過去の取組み状況を精査して検討予定。
村山市	家庭系ごみ排出量 (1人1日あたり: g)	421	425	427	433	448	392	① 短期(1、2年で緊急に実施すべきもの) ・生ごみ排出量を減量するため、コンポスト化容器や生ごみ処理機等の購入補助を継続し、市民への周知も強化していく。 ② 中期(3~4年で実施すべきもの) ・資源回収団体への報償金交付やごみステーションを利用した雑がみ回収等を継続していき、市民へごみの資源化意識を定着させていく。	①-実績	今年度も継続しコンポスト化容器等購入補助を実施。 コンポスト化容器 8人 8基分 補助額 17,200円 生ごみ処理機 5人 5基分 補助額 80,000円
	事業系ごみ排出量 (t)	1,989	2,043	2,048	2,088	2,180	1,926		①-予定	
	資源化率(%)	15.2	13.8	14.6	13.5	10.3	12.61		②-進捗	資源回収団体への報償金 99,232円(前期分) 後期分は集計中。 雑がみ回収 年3回、6月・11月・3月に実施。3,120kg回収。(6月と11月実施分)3月実施分は集計中。
天童市	家庭系ごみ排出量 (1人1日あたり: g)	448	443	438	445	459	428	① 短期(1、2年で緊急に実施すべきもの) ・家庭の生ごみの排出を抑制するため、コンポスターや電気式生ごみ処理機、環境にやさしい調理法を学ぶ「エコッキング教室」の開催を市報や衛連だよりで定期的に周知する。 ・「都市鉱山からつくる!みんなのメダルプロジェクト」を通して市民のリサイクルへの関心を高め、不燃ごみの中に混入している使用済小型家電の発生量を抑制する。 ② 中期(3~4年で実施すべきもの) ・事業系一般廃棄物の中に混入している段ボールや古紙等の紙製資源を減らすために、事業所から排出される紙製資源を資源回収業者に出してもらえよう事業所向けの分別マニュアルを作成し広報啓発する。	①-実績	・食品ロス削減に向け、コンポスターの斡旋、電気式生ごみ処理機に対する補助金の交付 ・市民向けのエコッキング教室の開催 ・市報、衛連だよりに食品ロス削減の特集記事の記載、3010運動広報コースターを作成
	事業系ごみ排出量 (t)	7,398	7,444	7,550	7,539	6,850	6,024		①-予定	
	資源化率(%)	12.2	11.0	10.4	14.1	8.0	14.7		②-進捗	許可業者を通じて分別のよくない事業者への指導を実施。 事業所向けの分別マニュアル作成については検討中。
東根市	家庭系ごみ排出量 (1人1日あたり: g)	424	425	423	425	435	409	① 短期(1、2年で緊急に実施すべきもの) ・ごみアプリや分別ハンドブックによる分別処理の啓発や、集団回収、小型家電回収等を推進することにより、もやせるごみに混入する古紙、布類やもやせないごみに混入する小型家電等の削減を図る。 ・もやせるごみに含まれる生ごみの重量を減らすため、水切りの啓発や電気式生ごみ処理機の助成等を行う。 ・飲食店における食品ロス削減のため、3010運動等を実施する。 ・リユース食器利用の推進により、使い捨て容器の使用を抑制し、ごみの減量化を図る。 ② 中期(3~4年で実施すべきもの) ・現在ほとんどが焼却処理されている果樹の剪定枝等について、バイオマスとして活用できないか検討を行う。 ・排出事業者に適正処理の啓発と指導を行う。	①-実績	・ごみアプリ:随時更新、分別ハンドブック:年1回更新(印刷版は転入者に配布)、集団回収:有価物回収を行った団体に助成金を交付中(受付:H29~R3で計394件)、小型家電回収:庁舎等に回収ボックスを計4台設置済、地域公民館にてコンテナ設置による回収を実施 ・電気式生ごみ処理機購入補助金交付中(H29~R3で計46件) ・3010運動:各飲食店にポスター配布済 ・リユース食器利用助成申請受付中(H29~R3で計69件)
	事業系ごみ排出量 (t)	5,775	5,830	5,868	5,863	5,665	5,691		①-予定	・集団回収:助成金を交付継続予定 ・小型家電イベント回収:R2~3年度は中止、R4年度は年2回実施予定 ・電気式生ごみ処理機購入補助金交付継続予定 ・リユース食器利用助成継続予定
	資源化率(%)	11.7	10.6	10.7	10.1	7.5	15.0		②-進捗	・バイオマス:検討中 ・排出事業者への啓発:検討中
河北町	家庭系ごみ排出量 (1人1日あたり: g)	455	455	454	459	463	435	① 短期(1、2年で緊急に実施すべきもの) ・家庭系のごみの中で、もやせるごみを減らすこと。 ・紙類等は、雑がみ回収や資源回収に出すよう広報、ホームページ等で呼びかけたり、生ごみを減らすために生ごみ密閉式処理容器購入設置補助金の交付や環境フェアを開催し、ごみ削減(食品ロス等)に関心をもってもらおう。 ② 中期(3~4年で実施すべきもの) ・家庭系のごみの中で、もやせないごみ・粗大ごみを減らすこと。 ・環境フェア等にて小型家電の無料回収を行なうことで、もやせないごみや粗大ごみを削減させる。	①-実績	・雑がみ回収、小型家電のリサイクル回収、資源回収報奨金、生ごみ密閉処理容器購入設置補助金の実施及びホームページへの掲載。(継続事業) ・LINEの町公式アカウントにごみの分別索引機能を導入。 ・雑がみ回収、小型家電リサイクル回収のお知らせの全戸配布。 ・町の広報誌で雑がみ回収及び小型家電回収などについて回収量の報告(年1回 5月実施済み)。 ・R3環境フェアについては、新型コロナウイルス感染症のため実施せず、町内の小学生を対象とした環境ポスターコンクールのみ実施した。 ・広報誌にてごみ減量の特集記事を掲載(年1回、3月1日号)。
	事業系ごみ排出量 (t)	2,007	2,010	2,032	2,029	2,062	1,960		①-予定	・R4年度についても、雑がみ回収事業や小型家電・古着のリサイクル回収、資源回収報奨金を継続し、生ごみ処理機購入設置事業については、密閉処理容器以外にコンポスト等へも補助対象を拡大予定。 ・ごみ減量月間(R4予定) ・環境ポスターコンクールを実施し、最優秀作品で環境問題啓発ポスターを作成し、町内に掲示する。
	資源化率(%)	14.2	13.2	13.0	12.4	10.9	15		②-進捗	・家庭系のもやせるごみの減量に向けて雑がみ回収、資源回収報奨金などの事業を継続するとともに、ごみ減量月間などを設けて啓発にも力を入れていく。 ・もやせないごみ、粗大ごみの削減に向けた小型家電のリサイクル回収(年2回実施を継続)。 ・生ごみ処理機購入補助制度の拡充(予定)
尾花沢市	家庭系ごみ排出量 (1人1日あたり: g)	471	478	479	486	485	454	① 短期(1、2年で緊急に実施すべきもの) ・処理料金の値上げ(確定) ② 中期(3~4年で実施すべきもの) ・コンポスト補助継続	①-実績	・コンポストの設置補助(6月1日~10月15日) ・小型家電リサイクル回収(9月1日~9月25日) ・生ごみの水切り(広報誌による周知)7月1日号
	事業系ごみ排出量 (t)	1,835	1,749	1,793	1,829	1,703	1,524		①-予定	
	資源化率(%)	12.8	12.0	12.6	7.1	7.5	24.7		②-進捗	・コンポスト補助の継続 ・小型家電リサイクル回収については、一定期間を設けていることもあり増えている。 ・食品ロスについては、市内飲食店への協力依頼を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、宴会等自粛ムードもあつたため見送った。
大石田町	家庭系ごみ排出量 (1人1日あたり: g)	534	540	528	543	500	464	① 短期(1、2年で緊急に実施すべきもの) ・町報等により、排出抑制、生ごみの水切りの徹底を呼び掛けていく。 ・町報等により、ごみの分別、出し方の周知を図る。 ・コンポスター助成対象の拡大。 ② 中期(3~4年で実施すべきもの) ・マイバック運動、食品ロス減少運動の推進 ・イベント回収品目拡大及び受付時間延長	①-実績	・コンポスト、電気式生ごみ処理機に対する補助金(食品ロス削減) ・資源回収事業の継続実施(リサイクルの意識向上) ・イベント回収事業での回収量を全戸配布チラシで報告し、啓発を図った。
	事業系ごみ排出量 (t)	406	390	386	426	388	275		①-予定	
	資源化率(%)	11.8	6.1	7.0	8.2	10.0	24.3		②-進捗	・コンポスト、電気式生ごみ処理機設置補助の継続 ・資源回収事業(紙類・小型家電)の継続

市町村アクションプログラム 実績値及び目標値

市町村	項目	実績値「一般廃棄物処理事業実態調査」より					目標値	ごみ排出抑制等の対策	各対策の進捗状況(令和4年2月現在)	
		H28	H29	H30	R1	R2			R2	
新庄市	家庭系ごみ排出量 (1人1日あたり: g)	535	547	550	544	539	511	① 短期(1、2年で緊急に実施すべきもの) ・不燃・可燃に混入された資源物の分別強化⇒資源回収による。 ・可燃物に混入されている食品トレーの収集強化 ・不燃物に混入されている小型家電の収集強化 ② 中期(3～4年で実施すべきもの) ・事業系一般廃棄物の分別強化 ・廃プラスチックの分別収集	①-実績	福祉事業所と連携した小型家電リサイクルシステム事業において、担当課窓口での対面回収、毎月第4土曜日の衛生組合連合会との協働による資源回収事業が定着し、継続して回収量が増加している。集団資源回収の実績に係る奨励金の交付要件を緩和し、実施主体が取り組みやすい環境整備を図った。
	事業系ごみ排出量 (t)	6,041	6,082	5,906	5,495	4,983	4,407		①-予定	市内スーパーの店頭において、分別・排出マナーの徹底とリサイクル活動への参加について、定期的な啓発活動を実施予定。
	資源化率(%)	15.0	14.3	13.9	12.8	12.2	16.6		②-進捗	事業系一般廃棄物の分別強化については、定住自立圏の枠組みにおいて、平成30年度に事業系一般廃棄物ガイドラインを策定し、事業所に対し説明会を実施した。そのような経過も踏まえ、事業系ごみについては、年々減少傾向にある。廃プラスチック類のリサイクルについても、定住自立圏の枠組みにおいて検討を継続している。
金山町	家庭系ごみ排出量 (1人1日あたり: g)	481	482	487	504	508	407	① 短期(1、2年で緊急に実施すべきもの) ・紙類(特に雑がみを集団回収で) ・生ごみ(コンポスターの普及) ・食品トレー(新庄もがみ方式の推進) ② 中期(3～4年で実施すべきもの) ・小型家電(窓口回収、ボックス回収のほかイベント回収の実施) ・衣類(集団回収及びイベント回収の実施)	①-実績	・雑紙回収については、地域の資源回収及び衛連のイベント回収において実施 ・生ごみ処理容器の購入補助の実施・・・1基2,000円補助(衛連で補助) ・新庄もがみ方式食品トレー回収の実施・・・拠点回収(3か所)
	事業系ごみ排出量 (t)	240	249	254	260	246	202		①-予定	
	資源化率(%)	17.4	16.3	15.5	14.9	14.4	22.1		②-進捗	・小型家電回収(窓口回収、ボックス回収、衛連イベント回収(2回))実施 ・衣類(衛連イベント回収(小型家電と同時開催))
最上町	家庭系ごみ排出量 (1人1日あたり: g)	596	552	540	559	553	557	① 短期(1、2年で緊急に実施すべきもの) ・ごみの分別による資源化の徹底(ごみの分別表の見直し、分別表の策定による資源化の徹底) ② 中期(3～4年で実施すべきもの) ・事業系一般廃棄物の分別強化	①-実績	新庄最上定住自立圏形成ごみ減量化推進協議会で、ごみ分別表を作成し、ごみ分別による資源化を実施中。
	事業系ごみ排出量 (t)	157	357	354	307	296	175		①-予定	新庄最上定住自立圏形成ごみ減量化推進協議会で、可燃ごみから、紙類、プラ類、トレーなどの、資源ごみの抽出を検討中。
	資源化率(%)	11.5	9.1	9.8	8.5	10.2	8		②-進捗	・事業系一般廃棄物ガイドラインは、最上地域全体で共同制作を行い説明会を実施済。今後、継続してガイドラインの周知を図っていく。
舟形町	家庭系ごみ排出量 (1人1日あたり: g)	555	553	555	569	570	528	① 短期(1、2年で緊急に実施すべきもの) ・ごみの出し方広報の圏域内統一(分別基準の精査と資源ごみの増加) ・食品トレーリサイクルシステム新庄もがみ方式の推進 ・小型家電の回収拡大 ② 中期(3～4年で実施すべきもの) ・廃プラスチックごみ分別の新設の検討 ・事業系一般廃棄物処理のガイドラインの周知 ・ごみ袋の圏域内統一の検討 ・分別排出の強化(古紙分別・回収強化)	①-実績	・新庄もがみ地域ごみ分別表を共同制作し、各世帯に配布しているが、今年度更新を予定している。 ・食品トレーの回収を町内34か所で開催中。
	事業系ごみ排出量 (t)	300	327	348	311	388	271		①-予定	・小型家電及び古着の回収を年2回実施し、回収拡大を図る。R4年度は4月と10月に実施する予定である。
	資源化率(%)	11.4	11.8	4.9	4.3	11.0	10.9		②-進捗	・事業系一般廃棄物ガイドラインは、H30年度に共同で制作を行い説明会も実施。R4年度も継続してガイドラインの周知を図っていく。 ・子供会や町内会等が実施する資源回収活動に補助をして、資源化率の向上を目指している。
真室川町	家庭系ごみ排出量 (1人1日あたり: g)	592	580	597	605	606	482	① 短期(1、2年で緊急に実施すべきもの) ・「新庄もがみ方式」による食品トレーリサイクルの回収の啓発 ・食べ残し減少のための広報啓発 ② 中期(3～4年で実施すべきもの) ・小型家電回収の通年実施	①-実績	・小型家電リサイクルについてR3年度は10月 日から10月 日まで、無料窓口回収を行った。 ・チラシ等でごみの分別や資源化や3Rについての見直し活動を行った。
	事業系ごみ排出量 (t)	302	260	301	252	235	207		①-予定	・小型家電リサイクルについてR4年度は10月末に無料回収を計画している。
	資源化率(%)	11.3	11.2	14.1	10.3	9.4	21		②-進捗	
大蔵村	家庭系ごみ排出量 (1人1日あたり: g)	538	546	555	575	555	526	② 中期(3～4年で実施すべきもの) ・住民に向けた買い物袋持参の啓蒙啓発 ・事業者に向けた分別や資源化に係る指導や協力 ・生ごみ水切り徹底の啓発 ・生ごみ処理機活用モデル事業による検証 ・生ごみ処理機普及事業の実施(モデル事業の結果による) ・事業者排出ごみの内容調査 ・事業者への分別、排出の適正な指導 ・ごみの発生、排出抑制につながるライフスタイルの提案	①-実績	・広報誌に衛生通信欄を設け、ゴミの分別や資源化の状況や実績を掲載することにより、住民が関心を持てるよう啓蒙活動を行っている。 ・毎年配布するゴミカレンダーの内容を刷新し、分別、資源化、減量化のコツをわかりやすく掲載している。
	事業系ごみ排出量 (t)	136	139	137	132	138	104		①-予定	
	資源化率(%)	8.2	7.8	10.9	10.0	9.6	14		②-進捗	・小型家電リサイクルについて通年回収で実施した。 ・各地区のゴミステーションでの古着などの資源回収日を設け、年4回実施した。 ・コンポストの購入補助を実施。 ・出前講座の実施により、ゴミの分別と資源化、減量化の啓発を行った。
鮭川村	家庭系ごみ排出量 (1人1日あたり: g)	461	460	471	467	480	387	① 短期(1、2年で緊急に実施すべきもの) ・村衛生組合連合会と連携し、ごみステーションのパトロール等の活動を行い、資源物混入防止とごみの適正排出を推進し、ごみ分別意識の徹底を図る。 ・集団資源回収を実施する地域の子供会、小中学校及びその回収業者を通じて、紙類等の資源化を促す。 ・平成27年より年2回実施している小型家電リサイクル回収イベントを周知し、小型家電の資源化を促す。 ② 中期(3～4年で実施すべきもの) ・「新庄最上定住自立圏形成ごみ減量化対策推進計画」を策定し最上郡内の各市町村が共同してごみ減量化を図る。 <具体例> ・広域でのごみ分別意識の向上を図るため、ごみ分別表を最上管内市町村と統一することを計画中。 ・食品トレーリサイクルシステム「新庄もがみ方式」により、スーパー等回収協力店に加え、各市町村庁舎を含む公共施設が食品トレーの回収拠点となり、食品トレーのリサイクル率向上を図る。 ・目標の「事業系ごみ排出量」と「資源化率」は鮭川村堆肥センター分を除く	①-実績	10月にごみステーションパトロールを実施。
	事業系ごみ排出量 (t)	1,264	240	241	219	214	* 162		①-予定	3月現在で2団体が2回目の回収事業が完了。資源物の回収に併せて、新聞紙、雑誌類、段ボール等の紙類の回収を実施。 小型家電回収事業を5.11月に実施している。
	資源化率(%)	51.2	40.3	12.7	8.1	4.3	* 30		②-進捗	平成30年度に分別表の統一化完了。 鮭川村役場庁舎において、継続して食品トレーの回収を実施中。
戸沢村	家庭系ごみ排出量 (1人1日あたり: g)	492	504	518	517	517	489	① 短期(1、2年で緊急に実施すべきもの) ・食品トレー、紙バックを可燃ゴミではなく資源ゴミとして廃棄してもらうよう広報誌を活用して分別を啓発する。 ・古紙、古着などリサイクル可能なものを啓発して拠点回収する。 ② 中期(3～4年で実施すべきもの) ・短期に掲げた対策を継続し、広報誌を活用してリサイクルへの関心を高める。 ・雑がみのリサイクルについて広報誌を活用して啓発し、古紙・古着と合わせて拠点回収の回数を増やす。 ・事業系廃棄物処理のガイドラインを作成し、資源物のリサイクルを啓発していく。	①-実績	・食品トレーのステーション回収を実施している。 ・年2回(6月・10月)イベント回収を実施し、古紙、古着、使用済み小型家電の無料回収を行った。
	事業系ごみ排出量 (t)	373	458	313	327	295	280		①-予定	・年2回(6月・10月)、古紙、古着、使用済み小型家電を無料で回収するイベント回収を実施する予定。
	資源化率(%)	13.3	11.3	4.6	3.9	4.7	13.7		②-進捗	広報誌等を活用し啓発したことにより、住民のリサイクルへの関心が高まってきている。今後も広報誌等を活用した啓発、拠点回収を定着させていく。

市町村アクションプログラム 実績値及び目標値

市町村	項目	実績値「一般廃棄物処理事業実態調査」より					目標値	ごみ排出抑制等の対策	各対策の進捗状況(令和4年2月現在)	
		H28	H29	H30	R1	R2			R2	①-実績
米沢市	家庭系ごみ排出量 (1人1日あたり: g)	467	476	483	489	502	465	① 短期(1、2年で緊急に実施すべきもの) ○ 家庭系(生活系)ごみについて ・可燃性ごみに含まれる雑紙の分別及び資源化促進のため、出前講座の実施やチラシの配布等による啓発活動を実施する。 ・生ごみの減量化を図るため、段ボール式生ごみコンポスト講習会やエコクッキング講習会等、生ごみ減量化に関する講習会を実施する。 ・小型家電の回収を推進する。 ○ 事業系ごみについて ・食品ロスを削減するため、3010運動を推進する。 ・事業系ごみの適正な処理方法や資源化について示した「事業系ごみ処理の手引き」を作成する。 ② 中期(3~4年で実施すべきもの) ○ 家庭系(生活系)ごみについて ・ごみ排出抑制やリサイクルに対する意識高揚のため、衛生組合と連携した周知活動を行うほか、子ども向けの出前講座の実施等、環境教育の充実を図る。 ・生ごみ減量化に関する講習会について、内容を工夫しながら継続して実施する。 ・小型家電の回収方法について、今後も持続可能な体制を構築する。 ○ 事業系ごみについて ・作成した手引きを用いて周知活動を行い、事業系ごみ排出者への定着を図る。	①-実績	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座やチラシ配布等、分別徹底や資源化促進に係る啓発活動を実施している。 ・段ボール式生ごみコンポスト容器作成体験動画を製作し、YouTubeで配信した。 ・ホームページでの周知等により、3010運動の推進を行っている。 ・小型家電回収ボックスを市役所に常設したほか、10月には市内コミセン6か所に回収ボックスを輪番設置して使用済小型家電の回収を行った。 ・事業系ごみの減量及び適正処理を推進するため、「事業系ごみ減量リーフレット」を作成し、一廃収集運搬許可業者と連携した周知活動を実施した。
	事業系ごみ排出量 (t)	9,609	9,563	10,093	10,106	9,126	9,360		①-予定	
	資源化率(%)	12.1	11.8	11.4	11.1	12.3	14		②-進捗	<ul style="list-style-type: none"> ・米沢市衛生組合連合会と連携した周知活動を展開し、ごみ排出抑制やリサイクルに対する意識高揚を図る。 ・出前講座について、環境問題や消費者教育等と合わせてごみ問題を取り上げるなど、受講者のニーズに応えた内容を検討する。 ・生ごみ減量化に関する講習会について、内容を工夫しながら継続して実施する。 ・食品ロス削減のため、関係団体と連携した周知方法を検討する。 ・小型家電の回収方法について、今後も持続可能な体制を構築する。 ・事業系ごみの減量及び適正処理を推進するため、引き続き関係団体と連携して周知活動を行う。
長井市	家庭系ごみ排出量 (1人1日あたり: g)	420	441	447	481	505	354.2	① 短期(1、2年で緊急に実施すべきもの) ○ 分別の徹底によるリサイクル率の向上 ・広報や電話対応等で市民にわかりやすく説明する。特に資源ごみの可燃・不燃ごみへの混入を防ぐ。 ② 中期(3~4年で実施すべきもの) ○ 分別の徹底によるリサイクル率の向上 ・全戸配付している(5年に1回)ごみ分別ハンドブックの更新 ・分別の講習会等の継続的な活動により市民一人ひとりの意識向上を促す。	①-実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市報、ホームページ、地区座談会等で市民への分別の徹底とリサイクル率の向上の周知を行った。 ・小型家電の無料回収を断続的に実施した。 ・集団資源回収に奨励金を交付した。
	事業系ごみ排出量 (t)	2,612	2,658	2,579	2,503	2,425	1,982		①-予定	<ul style="list-style-type: none"> ・小型家電の無料回収(年3回実施予定)
	資源化率(%)	21.5	18.4	19.5	19.0	3.0	26.6		②-進捗	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年全戸配布している健康カレンダーにごみの出し方の詳細を記載し、分別の徹底と減量化を図った。ハンドブックについては、全戸配布は行わず市ホームページへの掲載を行っている。
南陽市	家庭系ごみ排出量 (1人1日あたり: g)	487	505	504	521	537	440	① 短期(1、2年で緊急に実施すべきもの) ・使用済小型家電等のイベント回収 ・生ごみ堆肥化処理器設置への補助金交付 ・集団資源回収への奨励金交付 ・「生ごみの水切り」の周知徹底 ・ごみの分別と出し方の周知徹底 ② 中期(3~4年で実施すべきもの) ・かしこい消費者(ごみになるものを買わない、過剰包装を断る等)の育成 ・食品ロス削減運動の推進	①-実績	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ堆肥化処理器設置への補助金交付 ・集団資源回収への奨励金交付 ・「生ごみの水切り」の周知徹底 ・ごみの分別と出し方の周知徹底
	事業系ごみ排出量 (t)	3,580	3,438	3,454	3,442	3,031	3,235		①-予定	
	資源化率(%)	11.7	11.1	10.5	9.0	9.2	13.2		②-進捗	<ul style="list-style-type: none"> ・かしこい消費者の育成(検討中) ・食品ロス削減運動の推進(検討中)
高畠町	家庭系ごみ排出量 (1人1日あたり: g)	416	427	443	474	473	380	① 短期(1、2年で緊急に実施すべきもの) ・家庭系ごみのうち不燃ごみを減らす。カセットボンベや鍋等を資源ごみ(金属)として出すように周知を図る。 ・家庭系ごみのうち可燃ごみを減らす。紙類、容器包装として資源ごみとして出すように周知を図る。(収集業者にも) ・事業系ごみのうち可燃ごみを減らす。紙類(特に段ボール)を資源ごみとして出すように周知を図る。 ・上記について、広報、全戸配布、隣組回覧またはホームページを利用して住民、事業所に周知を図る。 ② 中期(3~4年で実施すべきもの) ・家庭系ごみのうち可燃ごみを減らす。モデル地区で行っている「生ごみ回収」の地区を増やす。(回収した生ごみは堆肥化) ・小学校や中学校の児童・生徒に対して、ごみ減量化についての啓蒙を行う。	①-実績	<ul style="list-style-type: none"> ・町広報で機会を捉えて周知広報を実施している。生ごみの減量処理量の減少を目的に、YouTubeに「段ボールコンポストの作り方」をあげました。
	事業系ごみ排出量 (t)	1,377	1,471	1,574	1,491	1,435	1,321		①-予定	<ul style="list-style-type: none"> ・左記①について、広報やホームページなどを活用した啓発は引き続き行っていきます。加えて、ごみの処理量の推移を示してごみ減量の啓発を続けていきます。
	資源化率(%)	18.4	17.1	13.1	13.2	14.1	27		②-進捗	<ul style="list-style-type: none"> ・食品ロスの削減に向けて、宴会5か条について広報紙で紹介するなどしています。 ・小学校や中学校の児童・生徒への啓蒙活動は、他の係と合同での実施を検討しています。
川西町	家庭系ごみ排出量 (1人1日あたり: g)	374	412	421	442	460	369	① 短期(1、2年で緊急に実施すべきもの) ・一般廃棄物処理計画の見直し ・リサイクルの推進とごみ分別の徹底を図るために、資源物を多く収集できるような啓発文をごみカレンダーへ掲載し、各世帯へ配布する。	①-実績	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度のごみ収集カレンダー裏面に、分別の手引きを掲載し、全戸配布を行った。 ・小型家電回収事業の周知を町HPとFB、広報などにより強化し、小型家電イベント回収を4回行った。
	事業系ごみ排出量 (t)	1,674	1,639	1,643	1,638	1,669	1,610		①-予定	<ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物処理計画(ごみ処理基本計画)の令和5年度の計画策定に向け、情報収集、現状分析を行う。
	資源化率(%)	7.2	7.2	6.9	6.9	7.3	10		②-進捗	<ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物処理計画(ごみ処理基本計画)の計画策定に向け、情報収集及び現状分析を行っている。
小国町	家庭系ごみ排出量 (1人1日あたり: g)	474	462	495	498	499	443	① 短期(1、2年で緊急に実施すべきもの) ○ 生活系可燃ごみの減量 ・生ごみ堆肥化事業の推進(対象地区、世帯の拡大) ・小型家電、古着回収における実施方法の再検討 ○ 事業系一般廃棄物の排出適正化と抑制 ・各事業所へ廃棄物の出し方について周知 ② 中期(3~4年で実施すべきもの) ○ 生ごみ堆肥化事業の全町的な取り組み ○ 高齢化に対応した収集方法の検討	①-実績	<ul style="list-style-type: none"> ・町広報にごみの適正分別と減量化の特集記事を掲載 ・ドライブスルー方式による利便性の高い小型家電回収を実施 ・事業所に対して段ボール類等の適正処分を文書で周知
	事業系ごみ排出量 (t)	341	412	383	334	303	315		①-予定	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ分別表を更新し、各世帯に配布
	資源化率(%)	15.0	15.9	16.3	16.9	21.2	10		②-進捗	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化に対応した収集方法の検討、課題の抽出等を引き続き行う。
白鷹町	家庭系ごみ排出量 (1人1日あたり: g)	418	431	437	450	466	401	① 短期(1、2年で緊急に実施すべきもの) ・家庭系ごみのうち、古着と使用済小型家電のリサイクル促進のため、回収イベントの実施回数と時期の見直し及び町民への周知。 ・生ごみを減らすため、3010運動などの食品ロス削減に向けた取り組みや生ごみの水切りの普及・推進。 ・家庭系ごみを減らすため、簡易包装をする、使い捨て製品の使用を控える、詰め替え製品を利用するなどの取り組み(「1人1日10gのごみを減らす運動」など)の普及・推進。 ・分別徹底のため、町報、HP等による啓発。 ② 中期(3~4年で実施すべきもの) ・生ごみを減らすため、生ごみリサイクルシステムの整備。 ・家庭系ごみのうち、使用済小型家電のリサイクル促進のため、回収品目拡大と回収の効率化。 ・事業系ごみを減らすため、事業系ごみの減量化・資源化ガイドラインの作成。	①-実績	<ul style="list-style-type: none"> ・使用済小型家電「BOX回収」(通年) ・EMばかし講習会(通年) ・有価物集団回収奨励金(通年) ・家庭用コンポストの普及推進、購入補助(通年) ・使用済てんぷら油(廃食油)回収(11月~12月) ・使用済小型家電及び古着「イベント回収」(5/29、9/18、12/4)
	事業系ごみ排出量 (t)	585	600	581	597	556	575		①-予定	
	資源化率(%)	18.4	18.2	18.3	17.6	15.7	20.7		②-進捗	<ul style="list-style-type: none"> ・使用済てんぷら油(廃食油)回収の通年化的検討

市町村アクションプログラム 実績値及び目標値

市町村	項目	実績値「一般廃棄物処理事業実態調査」より					目標値	ごみ排出抑制等の対策	各対策の進捗状況(令和4年2月現在)
		H28	H29	H30	R1	R2			
飯豊町	家庭系ごみ排出量 (1人1日あたり: g)	384	412	419	432	435	348	① 短期(1、2年で緊急に実施すべきもの) ・生活系ごみリサイクル率向上のための分別収集の徹底 ・事業系ごみ減少に向けた排出事業者への指導 ・小型家電回収の推進 ② 中期(3～4年で実施すべきもの) ・食品ロスの減少に向けた「30・10運動」の推進	①-実績 ・町広報誌により、分別収集について周知。 ・町内企業に対して段ボールの有価物としての処分(再資源化)を指導。 ・10月17日、役場庁舎での無料回収の実施。昨年度より58品目回収 ・ごみカレンダーに、分別の手引きを掲載し、全戸配布を行った。
	事業系ごみ排出量 (t)	731	627	593	615	584	674		①-予定
	資源化率(%)	13.9	2.9	14.3	13.7	14.2	14.1		②-進捗 ・食品ロス削減のための、「30・10運動」コースターを作成し、町内飲食店に配布。(H30年度～) ・組回覧でチラシを配布
鶴岡市	家庭系ごみ排出量 (1人1日あたり: g)	579	579	582	596	604	610	① 短期(1、2年で緊急に実施すべきもの) ・雑がみの資源回収の推進 ・びん類の資源化の徹底 ・生ごみの水切りの推進 ・食品ロスの低減 ② 中期(3～4年で実施すべきもの) ・ごみ処理の有料化の検討	①-実績 ・ごみ分別出前講座、広報誌、市HP、市SNSなどで情報発信を実施したほか、令和3年11月より市公式LINEでもごみ分別情報の発信を開始している。 ・集団資源回収への支援を行うと同時に、令和3年10月より第3日曜日午前中にごみ焼却施設で資源物の拠点回収を開始している。 ・びん類の資源化率は、平成29年度から10%以上増加した。
	事業系ごみ排出量 (t)	12,492	12,306	11,794	11,357	9,909	12,418		①-予定 ・引き続き上記の取り組みを行う。 ・ごみ減量やリサイクルの推進に向けたターゲットを絞り込むため、もやすごみの組成分析を実施する。
	資源化率(%)	12.5	12.1	12.2	11.8	11.8	15.3		②-進捗 ・ごみ処理の有料化は、ごみ排出抑制に有効とされているため、食品ロス削減などその他の排出抑制策や、高齢者等へのごみ出し支援などの課題解決策と併せて調査・研究していく。
三川町	家庭系ごみ排出量 (1人1日あたり: g)	606	606	599	621	638	527	① 短期(1、2年で緊急に実施すべきもの) ・生ごみの排出量を減らす(生ごみ減量実証試験事業 H29.10月より実施) →自宅にコンポストや生ごみ処理機を設置することが困難な世帯から、町で準備した生ごみ処理機(水切りバケツ等)を一定期間使用していただき、生ごみ減量化の効果を検証する。 ・ペットボトルの回収量を増やす(資源ごみ拠点回収推進実証試験事業H29.10月より実施) →資源ごみ(ペットボトル)処理費用の削減を図るため、希望した町内会に専用の収集ボックスを設置し回収することにより、その効果を検証する。 ② 中期(3～4年で実施すべきもの) ・生ごみ減量事業の本格実施	①-実績 ＜生ごみ減量実証試験事業＞ ・平成29年度は27世帯からモニターになっていただき、11月上旬から平成30年2月まで実施し、3月にアンケート調査を行った。その後実証結果の取りまとめを行い、次年度に使用する生ごみ処理容器について決定した。 ・平成30年度は57世帯からモニターになっていただき、10月中旬から平成31年2月まで実施した。その後2月にアンケート調査を行い、実証結果の取りまとめをした。 ・令和元年度は37世帯からモニターになっていただき、10月中旬から令和2年2月まで実施した。その後2月にアンケート調査を行い、実証結果の取りまとめをし、令和3年3月に策定した三川町一般廃棄物処理基本計画に反映させた。 ＜資源ごみ拠点回収推進実証試験事業＞ ・平成29年11月1日に、ペットボトルの輸入・販売先である中国が、平成29年末をもってペットボトル輸入中止を決定したことにより、資源ごみ拠点回収推進実証試験事業を中止せざるを得ない状況になった。平成30年7月現在において、資源ごみ拠点回収推進実証試験事業の代わりとなる事業を模索中である。また、資源リサイクルステーションでも拠点回収を行ってきたが、引取り業者での買取りが終了したことに伴い収集運搬業者から事業終了の申し出があったため、令和3年4月末日をもって回収を終了している。
	事業系ごみ排出量 (t)	1,453	1,436	1,524	1,579	1,490	1,500		①-予定 ＜生ごみ減量実証試験事業＞ ・事業終了のため予定なし。
	資源化率(%)	9.4	9.4	8.7	7.9	8.1	12.82		②-進捗 町広報でごみ減量の特集ページを組み、減量について呼びかけた。また、食品ロス削減について町広報、ホームページ及びLINEで周知を図った。
酒田市	家庭系ごみ排出量 (1人1日あたり: g)	677	675	653	649	643	633	① 短期(1、2年で緊急に実施すべきもの) ・紙類資源のうち雑がみの回収を促進するために、説明会、出前講座等での周知 ・生ごみの減量と生ごみに含まれる水分の減量のために、説明会、出前講座等での周知 ・剪定枝・雑草などに含まれる水分の減量や土の除去の乾燥の徹底について説明会、出前講座等での周知 ・事業系ごみ減量のために、ごみの分別とリサイクルの推進についての啓発チラシの作成 ・水銀ごみ・危険ごみの回収の検討 ・使用済み小型家電回収の拡充 ② 中期(3～4年で実施すべきもの) ・剪定枝のリサイクルの検討 ・布類のリサイクルの検討 ・家庭系ごみ有料化の検討 ・事業系ごみ搬入手数料の見直しの検討	①-実績 ・雑がみ回収促進のために、出前講座や全戸配布チラシ(ごみ出し情報)で周知を行った。 ・生ごみ減量のため、水切りポイントや生ごみ処理機購入補助金、食ロス削減について、出前講座・全戸配布チラシ(ごみ出し情報)・ホームページ・HPで周知を行った。 ・剪定枝等の減量のために、出前講座で周知を行った。 ・市内飲食店に、食品ロス削減に向けた取り組みについてお願いの文書を送付した。(3010運動ポスター・幹事さん用呼びかけラミネート・もったいない山形協力店募集チラシを同封) ・事業系ごみの減量化・適正処理の啓発チラシは、商工会議所広報誌の折込みで周知した。 ・使用済み小型家電、水銀使用廃製品、古着の無料回収を実施した。 ・水銀使用廃製品のステーション回収は、令和2年4月から実施した。 ・事業系ごみ搬入手数料の改定は、令和元年10月から実施した。
	事業系ごみ排出量 (t)	11,320	11,629	12,060	12,579	11,718	10,617		①-予定 ・市内飲食店に、食品ロス削減に向けた取り組みについてお願いの文書を送付した。(3010運動ポスター・幹事さん用呼びかけラミネート・もったいない山形協力店募集チラシを同封) 事業系ごみの減量化・適正処理の啓発チラシは、商工会議所広報誌の折込みで周知予定。⇒実績へ ・使用済み小型家電、水銀使用廃製品、古着の無料回収を実施した。(5/30～6/5) 秋も実施予定。⇒実績へ ・水銀使用廃製品のステーション回収は、令和2年4月から実施予定。⇒実績へ
	資源化率(%)	16.1	15.9	15.7	15.5	15.4	19.1		②-進捗 ・剪定枝のリサイクルの検討 ・布類のリサイクルの検討⇒H29から古着回収を実施している。(年1～2回イベント回収)R2年度は、新型コロナウイルス感染防止のため中止。 ・家庭系ごみ有料化の検討⇒ごみ減量化施策の一環として継続的に検討 ・事業系ごみ搬入手数料の改定は、令和元年10月から実施予定 ⇒予定どおり実施した。
庄内町	家庭系ごみ排出量 (1人1日あたり: g)	667	713	723	754	714	695	① 短期(1、2年で緊急に実施すべきもの) ・家庭系ごみのうち可燃ごみを減らすため、食品ロスの排出抑制、生ごみの水切りの徹底などの啓発 ・生ごみの新たな活用方法の検討 ・ごみ処理費用の受益者負担について検討 ② 中期(3～4年で実施すべきもの) ・多量の一般廃棄物排出事業者に対する減量化指導	①-実績 ・広報、回覧チラシ、HP等による周知。 ・紙類資源、廃食用油、ペットボトルキャップ、古着・古布、小型家電の通年回収 ・集団資源回収 ・環境便利帳の更新(R3.3更新) ・ごみ収集日のお知らせ配信及びごみの分別検索等をライン公式アカウントにより対応 ・生ごみ処理機等普及事業開始(R3年度から)
	事業系ごみ排出量 (t)	1,301	1,298	1,353	1,370	1,372	1,240		①-予定 ・食品ロスの削減について、関係機関等との連携・協力した取組みを検討 ・ごみ処理有料化に向けた検討
	資源化率(%)	20.7	17.2	17.4	16.8	15.7	23.0		②-進捗 ・事業系廃棄物の適正処理ガイドブックの作成の検討
遊佐町	家庭系ごみ排出量 (1人1日あたり: g)	570	565	550	554	595	546	① 短期(1、2年で緊急に実施すべきもの) ・紙類資源物の分別収集の徹底(もえるごみの減量) ・生ごみ処理機器購入補助の周知(もえるごみの減量) ・使用済み小型家電回収量の拡大(埋立ごみ・粗大ごみの減量) ・ごみ処理有料化の調査・検討(もえるごみの減量) ② 中期(3～4年で実施すべきもの) ・生ごみの堆肥化・資源化の調査・検討(もえるごみの減量) ・剪定枝、廃食用油リサイクルの検討(もえるごみの減量)	①-実績 ・紙類資源物の分別について、広報・回覧による周知、出前講座により、直接職員が分別を指導する場を設けた。 ・生ごみ処理機の補助について、広報・HPによる周知と出前講座における宣伝活動を行った。 ・使用済み小型家電については、新型コロナウイルスの影響により、イベント回収が中止となった。回収BOXによる収集は継続している。
	事業系ごみ排出量 (t)	920	982	979	944	673	859		①-予定 ・ごみ処理有料化の調査・検討については、現在検討中。
	資源化率(%)	17.4	17.1	16.7	17.3	17.6	22.4		②-進捗 ・生ごみの堆肥化・資源化については、調査・検討中。 ・剪定枝、廃食用油リサイクルについては、検討中。

《注意》これらの実績及び目標値は、次の計算方法で算出しています。そのため、市町村や事務組合の公表しているごみ処理や廃棄物処理計画の数値と異なる場合があります。

「家庭系ごみ」は家庭から排出されるごみ(直営、委託、許可による収集と直接搬入を合わせたもの)のうち、資源ごみを除いたもの。

「事業系ごみ」は事業所から排出されるごみ(直営、委託、許可による収集と直接搬入を合わせたもの)で、資源ごみを含むもの。

「資源化率」= (「集団回収量」+「直接資源化量」+「中間処理後再生利用量」) / (「集団回収量」+「家庭系ごみ」+「家庭系資源ごみ」+「事業系ごみ」)